

イソップ物語



野原が広がる丘の上で、動物たちがにぎやかにお喋りしていました。

キツネが「この世で一番強い動物は？」と皆に聞きました。「それはライオンだよ」皆の意見が一致します。

次に、ウサギが「この世で一番足の速い動物は？」と皆に聞きました。「うーん」と皆は

思案顔。ウサギは「それはこの僕。ウサギだよ」と言いましたが、皆は信じてくれません。

そこでウサギは、そばにいたカメとのかけっこを思いつきました。

さあ、ウサギとカメとのかけっこレースのはじまりです。

そして、レースの途中には北風と太陽も顔を出して・・・



王様の耳はロバの耳

昔々、ある国にいつも帽子を被った若い王様がいました。

明日は王様の結婚式だというのに、王様はなぜか浮かない顔。

なぜかと言うと、それは王様には秘密があるからでした。

そんな王様の心配をよそに、じいやは床屋をお城に呼びました。

結婚式のおめかしの為に王様の髪を切ろうと思ったのです。

そして床屋は知っています。王様の秘密、王様の耳がロバの耳だって事を・・・



作品について

第一幕のイソップ物語は「イソップ寓話集」に収められているたくさんのお話の中から特に人気の高い「ウサギとカメ」と「北風と太陽」の二編をお送りいたします。

ウサギとカメがかけっこをするというシンプルなお話を、北風と太陽を交えてダイナミックに描いています。

野山を駆け回る愛らしい動物たちの動きをお楽しみください。

第二幕の王様の耳はロバの耳では、雰囲気ガラッと変えて、王宮や民衆の広場がメインです。言わば、人間が主役の世界です。

子どもたちの大好きな「言っではいけない、ないしょの話」を華やかに、そしてユーモラスに描いています。

「イソップ物語」と「王様の耳はロバの耳」は、世界が違って子どもたちの大好きな物で満ち溢れています。小さな動物がいて、空を見上げれば北風と太陽がいます。お城には憧れの王様やお姫様、街にはお調子者の床屋さんがいます。

お子様方と、かつて子どもであった全ての方々へ、ぜひ会場にお越しになり、おとぎ話の世界を心行くまでお楽しみください。

劇団 銀河鉄道は……「未来に旅立つ子どもたちに、豊かでしなやかな心を育むお話を運びます」

1979年創立。なるべく説明をはぶき、子どもに発見をさせる、“発見こそ子どもの感動につながる”を理念に創意工夫された舞台と楽器の生演奏など常に「質の高いぬ

いぐるみ劇の確立”をめざしています。

現在、全国の大ホールを中心に年間150日270ステージほどの公演を続けています。

これまでの主な作品

★東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞

「まえがみ太郎」
「日本むかしばなし つるのおんがえし」

★厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財

「まえがみ太郎」

★厚生省中央児童福祉審議会推薦文化財

「ちびっこ太郎」
「ちびっこカムのぼうげん」
「日本むかしばなし つるのおんがえし・なしとり兄弟」
「ヘンゼルとグレーテル」
「おおかみと7ひきのこやぎ」